

世界初!

エージェントレス
完全自律型AIペネトレーションテスト
プラットフォーム

「TANUKI™」



自動実行・レポート作成

従来のエンジニアによる手動作業ではなく、AIがテストを自動的に実行し、詳細なレポートを作成します。



圧倒的なスピード

準備からレポート提出までわずか2週間で完了。
従来のペネトレーションテストと比べて大幅な時間短縮を実現します。



低コスト・高頻度実施

自動化による効率化により、従来のテストと比べて大幅なコスト削減を実現。
必要な頻度でテストを実施し、常に最新のセキュリティレベルを維持できます。



AIによる高度なテスト

最新の脅威インテリジェンスによって、常に進化するサイバー攻撃に対応します。



企業のサイバーセキュリティ対策に 革新をもたらす完全自律型AI ペネトレーションテストプラットフォーム

■ サイバーセキュリティの現状

近年、インターネット回線の高速化・システムの複雑化・利用サービスの多様化によって脆弱性が増加の一途を辿っております。さらに、脆弱性を放置している企業が多く見受けられます。

一方で、サイバー攻撃は巧妙化・高度化しています。ランサムウェアによる被害、サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃、内部不正による情報漏えいなど、その攻撃手法は多岐に渡ります。

こうした中、脆弱性診断と比較して、ペネトレーションテストを実施する企業は非常に少ない状況にあります。海外では約4割であるのに対し、日本国内では約2割と言われています。さらに、定期的を実施する企業は非常に少ない上、大半の実施頻度は年1回にとどまります。ペネトレーションテストでは、単に脆弱性を特定するだけでなく、攻撃者の手法を模倣し、攻撃が成功するか、どのような被害が発生するかを検証することができます。テストを定期的に行うことで、セキュリティ対策を最新の状態に保ち、未知の脅威に対応することに役立ちます。

■ 従来のペネトレーションテストが抱える問題

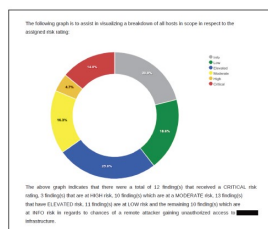
従来のペネトレーションテストでは、高度なスキルを持った人材を必要とします。しかし、セキュリティ業界全体で人材が不足しており、いつでもテストを実施できるとは限りません。また、ペネトレーションテストには数週間～数か月と多くの時間を要するため、テストを繰り返し実施することは困難です。高度な人材を必要とし、数週間～数か月と多くの時間を要することから、コストは高くなります。さらに、ペネトレーションテストの品質はテストを実施する担当者に依存するため、担当者が変われば品質も変わります。

■ これらの問題を解決するために

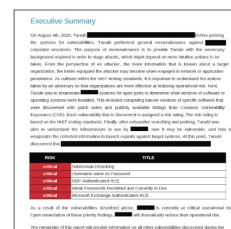
AIを搭載した完全自律型の「TANUKI」は、これらの問題を解決するための強力なツールです。テストの実行やレポート作成は自動で行われます。高度なスキルを必要とせず、短時間でテストが完了することで、低コストを実現します。短時間かつ低コストの実現により、繰り返しテストを実行することも可能となります。さらに、担当者に依存しないため、高品質化かつ均一化を実現します。

TANUKI™

- NIST (米国国立標準技術研究所) のガイドラインに準拠したペネトレーションテストを実施
- 脅威、脆弱性を悪用した攻撃に関する総合的な知識を備え、常に最先端のハッキング技術を使用
- ボタンをクリックするだけで、頻繁かつ包括的なテストを実施、一貫した品質と基準を保証
- 自動的にテストを実施、脆弱性をアラートレベルごとに分析・特定
- 報告書作成までの時間を大幅に短縮、コスト削減



アラートレベルごとに
脆弱性を分析



テスト結果の概要

お問い合わせ先

TSK 東洋システム開発株式会社

〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル3階
03-3434-4069
e-Mail: contact@tskcyber.com

メールでの
お問い合わせ →

